



市議会だより

なめりかわ



No.216

令和6年11月1日発行
滑川市議会
☎ (076) 475-2120
E-mail: gikai@city.namerikawa.lg.jp

(タイトル：滑川高校1年 高嶋音弥さんの作品)



8月26日～30日 13年ぶりに議長が姉妹都市シャンバーグ市を表敬訪問しました。
(写真はハーパーカレッジの視察)

令和6年9月定例会一覧

| | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------|------------------------|--------------------------|------------------|
| ***** | | ***** | | ***** | | ***** | | ***** | |
| 陳 人 人 そ そ 条 予 | 情 事 事 他 他 例 算 | (採 議 議 議 議 議 議 議 | 計 策 策 策 策 策 策 策 | 27 1 2 4 2 7 9 2 | 件 件 件 件 件 件 件 件 | ○議案の審議結果 | | ○委員会 | |
| | | | | | | 17・18・19・24日 | 10・12・11日 | 26日 | 26日 |
| | | | | | | 決算特別委員会 | 総務文教消防委員会 産業厚生建設委員会 | 議会運営委員会 | 議員派遣 閉会中の継続審査 |
| 26日 | | 9日 | | 10日 | | 2日 | | 開会 閉会 | |
| 委員長報告・質疑・討論・採決 追加提案 提案理由説明・採決 | | 代表質問・一般質問 | | 一般質問 | | 会期の決定 提案理由説明 補足説明 | | 9月2日 } 会期25日間 9月26日 } | |
| ***** | | ***** | | ***** | | ***** | | ***** | |

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は12月です。



なめりかわ市議会だより

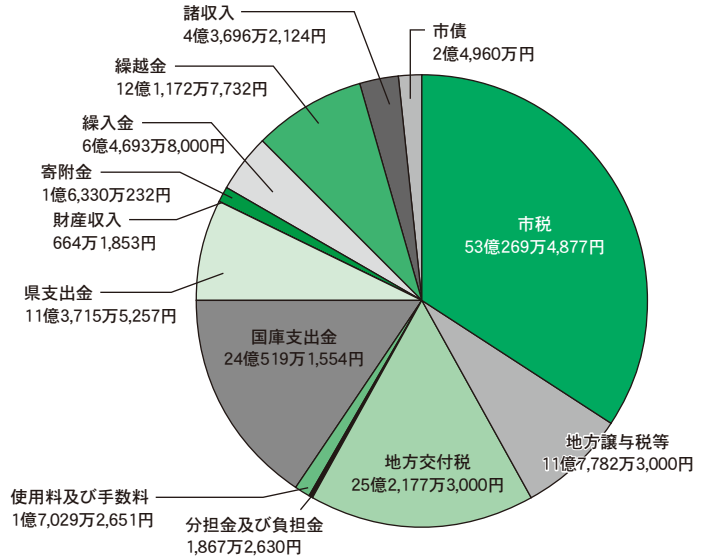
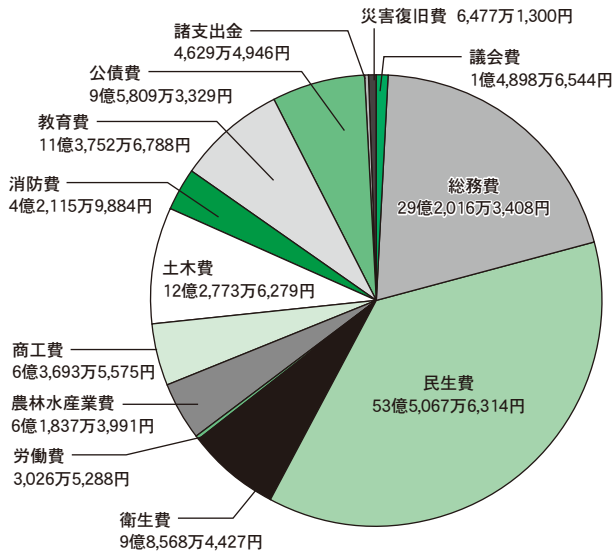
令和5年度の滑川市のお金の使われ方は？

～市の決算について審査を行いました～

一般会計

歳出総額 145億4,666万8千円

歳入総額 154億4,877万3千円



歳入歳出差引額 9億 210万5千円
 翌年度へ繰り越すべき財源 8,768万8千円
 実質収支額 8億1,441万7千円

◎決算特別委員会委員
 委員長 大浦豊貴
 副委員長 谷崎潤一
 委員 吉森真人
 委員 高川正樹
 委員 岩城晶巳
 委員 古沢利之

昨年度までは原則、全議員で決算特別委員会を組織していましたが、今年度より、各党派グループの代表6名の委員で構成しています。

令和6年9月定例会において、決算特別委員会が設置され、令和5年度一般会計、特別会計及び企業会計の決算審査が行われました。決算特別委員会の委員は次のとおりです。

決算特別委員会

企業会計

| 水道事業 | 収入済額 | 支出済額 |
|-------|------------|------------|
| 収益的収支 | 4億6,477万円 | 3億7,245万円 |
| 資本的収支 | 4,306万円 | 2億4,863万円 |
| 下水道事業 | 収入済額 | 支出済額 |
| 収益的収支 | 14億4,363万円 | 12億4,468万円 |
| 資本的収支 | 9億1,071万円 | 15億3,645万円 |

特別会計

| 会計名 | 収入済額 | 支出済額 |
|-------------|------------|------------|
| 国民健康保険事業 | 26億3,198万円 | 26億3,060万円 |
| 後期高齢者医療事業 | 9億3,080万円 | 9億2,635万円 |
| 介護保険事業 保険事業 | 30億7,062万円 | 30億3,704万円 |
| サービス事業 | 1,301万円 | 1,301万円 |
| 工業団地造成事業 | 69万円 | 0円 |

令和5年度の滑川市の予算の使われ方、実施した事業の成果等について、特に、予算額に対し決算額が低いもの（不用額が多いもの）や、新規事業、前年度に比べて増減の大きなものを中心に、必要な場合は資料の提出も求めながら審査を行いました。

その結果、各会計決算については、議決予算に基づいて適正に執行され、計画された事業は概ね所期の成果を挙げているとともに、行政効果も達成されたものと認め、決算特別委員会に付託された9議案については、賛成全員により認定または可決すべきものと決しました。

また、審査終了後、今後改善を求める事項として、次のとおり2項目を市に提出しました。

- 1 自主財源の一層の確保や歳出削減などにより、徹底した行政改革を行うとともに、限られた財源を有効活用するため、コスト意識を高め、事業評価と検証を十分に行い、公平公正で最大の効果を伴うよう努められたい。さらに、行政事務については業務の効率化のため、民間委託も検討されたい。

2 時代の変化とそれに伴う様々な住民ニーズに対応するため、全国一律・画一的な旧来型の取り扱いや規制等の中で、本市の経営に支障をきたすものや地域の実情にそぐわないものなどについては、既存の制度にとらわれず、新たに必要となる制度等について常に精査し、住民サービスの質を下げることのないよう、制度提案や政策提案を含めて国・県に対して要望を努められたい。

下のQRコードから
YouTube 滑川市議会チャンネルに
アクセスできます！



9月定例会

◆令和6年9月定例会

令和6年度一般会計補正予算（第2号）（2億7,787万2千円）

ほか、市長提出議案26議案を可決または同意

令和5年度一般会計、特別会計及び企業会計決算を認定

本会議

◇9月2日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、予算及び条例等の市長提出議案20件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当課長などから議案の補足説明がありました。

その後、本会議を再開し、決算特別委員会の設置を決めるとともに、委員の選任を行いました。

◇9日、10日は代表質問及び一般質問が行われ、12名の議員が市政一般に対する質問及び提出諸案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に、市長提出議案を所管の各委員会へ付託しました。

◇最終日の26日には本会議を開き、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長及び決算特別委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

市長提出議案20件については一括採決の結果、各常任委員長及び決算特別委員長の報告のとおり賛成全員で可決または認定されました。

次に陳情第1号について採決され、産業厚生建設委員長の報告のとおり賛成全員で採択となりました。

続いて、市長から人事案件として、滑川市教育委員会の教育長に上田良美さん（稲泉新）、滑川市教育委員会の委員に金谷潤子さん（上小泉）、水口明博さん（上小泉）、滑川市固定資産評価審査委員会の委員に芝田達矢さん（上小泉）、滑川市人権擁護委員に小沢政商さん（荒町）、山岡美恵子さん（北野）の選任が追加提案され、それぞれ同意、異議なしという意見に決定いたしました。
最後に議員派遣及び閉会中の継続審査を議決して、9月定例会を閉会しました。

常任委員会での審査 (主な質疑等)

各常任委員会への付託案件はP13～14をご覧ください。

総務文教消防委員会

付託された6議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

委員会での主な質疑

☆令和6年度滑川市一般会計補正予算(第2号)について

問 パーティション等の購入に対し補助することだが、本市で被害事例はあるのか。また、パーティション等を置くこともできる陰が被害につながることも考えられるが、どのように使うのか。

答 被害事例があったという報告はない。プールに入るときの着替えや乳幼児だけでなく障害によつておむつが必要なお子さんに陰をつくる工夫のために使うものと考ええる。陰になるスペースがわずかでもあることでほかの子どもたちに対して配慮でき、お子さん個人の尊厳を尊重するという面でも有効である。

☆滑川市総合体育センター条例の一部を改正する条例の制定について

問 利用料金の改定について、施設管理者との話し合いがなく決めたように感じるが、再考する予定はあるか。

答 (水野市長) スポーツ協会には方針をお示しさせていただいたが、もう少し早い段階から協議を重ねる

べきだった。お詫び申し上げる。今後は施設管理者との協議を密にしていければよいと考えているが、今回の料金改定に関しては提案のままをしたい。

産業厚生建設委員会

陳情第1号につきましては、10日に委員会を開催し、陳情者の趣旨説明を行わないことを決定しました。

12日の審査においては、当局から「公共事業関係予算の積極的な確保については、限られた財源で住民福祉の向上に努めながら、公共施設や道路、河川などのインフラの長寿命化や更新などに必要な予算を確保するとともに、SDGsや脱炭素社会の実現に向けて、照明のLED化なども計画的に進めているところである。今後も市民の安全・安心な生活を守るため、公共事業に必要な予算の積極的な確保に努めたい。」等の見解が示され、質疑を行った後、慎重審査の結果、賛成全員で採択すべきものと決定しました。

付託された6議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のと

委員会での主な質疑

☆令和6年度滑川市一般会計補正予算(第2号)について

問 積雪状況観測システムについて、年間の経費はどのくらいか。

答 年間の維持管理経費としては、モニタリングシステムの利用料、画像サーバーの利用料、電気代で、年間約34万円を見込んでいます。



問 物価高騰重点支援給付金の対象者はどのくらいか。

答 対象者は約6千300人であり、現在申請を受け付けているところである。

☆滑川市農村環境改善センター条例の一部を改正する条例の制定について

☆滑川市産業研修センター条例の一部を改正する条例の制定について

☆滑川市勤労身体障害者教養文化体育施設条例の一部を改正する条例の制定について

問 各施設の備品を更新する際は、実際に使用する利用者の要望を聞いたうえで、ニーズに合わせたものにするべきではないか。

答 (水野市長) それぞれ、使う方々のご意見、ニーズを踏まえた上で整備を考えていきたい。

第2回臨時会

令和6年第2回市議会臨時会は、会期を8月9日の1日間と決めた後に、議案第50号「工事請負契約の締結について」及び報告4件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の総務文教消防委員会へ付託しました。

その後、本会議を再開し、総務文教消防委員長から付託議案の審査結果の報告がありました。

採決の結果、議案第50号については、委員長の報告のとおり賛成全員で可決され、第2回臨時会を閉会しました。

委員会での主な質疑

☆滑川中学校グラウンドの工事請負契約の締結について

問 契約の方法である条件付き一般競争入札の条件の内容はどいったものか。

答 条件は、滑川市内に営業所があること及び入札参加資格の業種が土木一式工事であること、経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書の総合評定値が85点以上であることなどである。



滑川中学校グラウンド

日誌

6年8月

2日 議会運営委員会

8日 富山県市議会議長会

臨時総会、県知事との懇談会

(氷見市)

9日 全員協議会

第2回臨時会

定例議員協議会

20日 北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県

地方議員連盟総会・講演会

(富山市)

23日 議会運営委員会

26日 30日

姉妹都市親善交流

(アメリカ合衆国

シャンバーグ市)

26日 29日

第20回富山県日韓友好

議員連盟訪韓

28日 定例議員協議会

広報広聴委員会

9月

2日 26日 9月定例会

26日 議会報編集委員会

広報広聴委員会

10月

3日 上市町議会との親善交流会

4日 富山県市議会議長会

正副議長研修会(富山市)

7 8日

富山県東部消防組合議会

行政視察

(石川県七尾市・白山市)

8日 議会報編集委員会

11日 議会運営委員会協議会

17日 定例議員協議会

18日 東京都武蔵野市より行政視察

18日 議会報編集委員会

富山地区広域圏事務組合

議会議員協議会

24日 10月定例会(立山町)

滑川中新川地区広域情報

事務組合議会10月定例会

一代表質問

9月定例会では12名の議員が質問を行い、40項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

(すべての質問等詳細を記録した会議録は、12月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定ですのでご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用ください。)

※質問者の最後のその他の質問は、掲載外の質問事項です。


代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



1 姉妹都市交流について
 2 DXの推進について
 3 公共施設使用料等の改正について

(会派「志真会」) 竹原 正 人 議員



Q 市長は8月26日から30日までの5日間の日程で、アメリカカイロノイ州シャランバーグ市へ表敬訪問したが、姉妹都市としての継続的な交流をどのように考えているのか。

A 水野市長 平成29年8月、姉妹都市締結から20周年の記念事業として、中学生、市民で構成した訪問団による海外派遣事業以来7年ぶりの表敬訪問となった。先人たちがこれまで培ってきた姉妹都市との絆は貴重なものであり、今回の表敬訪問に際し、改めてその絆の大切さを身をもって感じてきた。今後は、子どもたちや産業界を含む市民間の交流も再開して、人的交流以外の分野においても交流を広げていきたい。

Q 今年度から、小諸市と滑川市の職員交流会を実施しているが、交流会を実施した結果、どう職員の意識改革や変化につながっているかと考えているのか。

A 水野市長 交流会には、両市から総務部の職員12名ずつ参加し、各市の特徴的な施策や業務効率化が図られた事例について意見交換を行った。参加職員からは、同世代の職員と意見交換を行う中で刺

激を受け、自らのスキルアップや業務改善への意欲が高まったなど意見が寄せられた。この交流会での成果を今後の業務に取り入れ、市の政策に積極的に取り組んでもらうとともに、職場においてフィードバックしてもらいたい。

Q 更なるDXの推進のため、新規事業をどのように考えているのか。

A 柿沢副市長 市民のDXの分野については、中小企業等のDX支援やDX人材の育成を進めていき、その方向の中で必要があれば新規事業を検討したい。まちづくり、市役所のDXの分野については、昨年度、市役所業務全てにおいて棚卸しを実施した。その結果を踏まえて今年度、住民サービスの向上や業務効率の改善に向けて検討に着手を行っている。

Q 公共施設の利用料等の改正について、施設管理者等との話し合いの場を設けて、利用料金の妥当性を協議したのか経緯を伺う。

A 水野市長 今回、話し合いの場は設けていない。これに関しては今後十分に対話を重ねて協議すべきものであると考えている。その点はおわびを申し上げる。

Q 能登半島地震が発生してから8カ月が経過したが、滑川市としてどういった対策を考えて行うのか。

A 水野市長 地域防災計画や各種マニュアルの見直しを進めるとともに、災害対策本部や避難所開設・運営をスムーズに行うための各種訓練の定期的な実施や防災資機材の計画的な配備などに努める。また、市民の防災意識を高め、迅速な避難行動をサポートすることを目的として、市の公式LINEアカウントに防災メニューを追加した。避難所の開設状況や混雑状況がスマートフォンで分かる「プラットフォームVACAN」の運用を開始し、これまでに以上に防災に関する情報発信の強化をした。

Q 富山県防災会議では43項目にわたって被害想定調査をするとのことだが、具体的な内容は。

A 水野市長 呉羽山断層など、これまで国の長期評価で発生確率や地震規模が示された4つのケース以外の、滑川市にも関係のある魚津断層層など12のケースについて今後調査するとされている。被害の想定項目は、揺れや液状化被害等のほか、新たにライフライン、

交通施設の被害、生活への影響、災害廃棄物その他の被害額等がある。調査完了まで2年ほどかかる。とされ、令和7年度中に中間報告されると聞いている。

Q 全国で大雨による被害が多いが、滑川市として対策は考えているか。

A 水野市長 大雨や洪水の災害のおそれのある場合は、上市川、早月川及び沖田川における重要水防箇所のパトロールを毎回実施している。

Q 最近、部活動中に重大な事故が起きているが、当市では生徒の動きを確認して安全対策をしているのか。

A 上田教育長 生徒の活動中は顧問が立ち合い、開始前の健康観察や安全確認を行った上で活動を開始するなど、安全に配慮するよう各学校で指導している。

Q 部活動の練習中の熱中症対策はどうしているのか。


A 上田教育委員会事務局長 小中学校のスポーツ活動では、教員が熱中症指数を計測しながら、危険な時は活動を中断または中止にしていく。換気、水分補給等、様々な配慮をしながら活動している。

代表質問



1 災害対策について
 2 小中学校におけるスポーツ活動について

(会派「会派自民」) 中川 勲 議員



一般質問



1 児童・生徒の校外学習について
2 滑川市の医療について

安達 真隆 議員



Q 過去に行われていた立山登山はなぜ現在行われていないのか。

A 上田教育委員会事務局長 30年近く前には、市内でも幾つかの小学校において立山登山が行われていたが、現在は市内の全ての学校において行われていない。その要因としては、安全確保のために引率者等の人員を多数確保する必要があり、学校行事として実施するには人材確保の面で難しくなっていると考えられる。また、登山中に遭難、滑落事故、ガス中毒の事故など様々な要因から立山登山が行われなくなったと考える。

Q 立山登山の再開予定はないのか

A 上田教育長 現在、市内の宿泊学習等においては、立山の近くの来拝山、大辻山、金剛堂山などを選んで行っている。立山登山は、子どもの体力にも個人差がある中で無理なく最後まで登りきることが難しく、登れない子どもたちへの配慮も必要である。教員の事前研修や当日の人員確保など、学校側の負担が大きいことや、登山用の装備など保護者の負担もあることから再開には多くの課題があると考えている。

Q 診療所開業等支援事業について、現在までの具体的な取組状況と進捗を伺う。

A 石川健康福祉部長 現在まで市医師会、市広報やホームページ、マスコミ、富山県医師協同組合、コンサルタント会社への情報提供協力依頼等行ってきた。進捗状況は既存診療所への医療機器更新に係る補助が、事前協議申請を含めて5件、新規の開設については問合せ等が市内外から多数あり、関心の高さを感じている。現在、来年度の開業に向けて事前協議を行っているケースが1件あり、そのほか数件開業に向けて検討していると聞いている。

Q 個人産婦人科医師が厚生連滑川病院の一角を借りて運営できるように提案できないか。

A 石川健康福祉部長 産婦人科については、県でも、1人で24時間365日を担当することは難しく現実的ではないということ、5〜6人のチームで運営していくという考え方にのっとって、幾つかの大きな病院に集約しており、今後、厚生連で分娩を扱うことは難しいと考えている。

一般質問



1. 地域防災について
2. 生活保護について

古沢 利之 議員



Q 被害想定の見直しなどは、県の計画と整合が必要だと思うが、1月の経験から避難所運営、備蓄品の取扱いなどは、早急に見直し計画に反映すべきではないか。

A 水野市長 能登半島地震の際の課題や市民アンケートの結果を踏まえ、現在も見直しを行っている。できるところからやっている。

Q NHKの番組で、今回の地震の特徴の一つは、複数の断層が連動して動き、全長150キロにも及び揺れも長時間続いたと紹介されていた。もう一つは、軟弱地盤の影響とのことで、報道では、本市では地盤増幅率が1.2から1.5という表示だった。新たな知見を防災計画にどう反映させるのか。

A 水野市長 軟弱地盤の増幅率の指摘も含めて、今後研究して地域防災計画に反映させたい。

Q 地元新聞の報道では、地震被害を想定する断層を従来の4パターンから、12パターンに増やすと発表されている。どのように受け止めているか。

A 水野市長 県では、想定外をなくす、最悪のケースを対象とすべきという県の防災会議での意見を

反映したものと認識している。今後の防災対策の上では好材料になるものと受け止めている。

Q 市のホームページでは、生活保護の対象について、「その利用し得る資産、能力及び扶養義務者の扶養、その他あらゆるものを活用してもなお、生活ができない」とある。扶養義務者の扶養はあらゆるものに含まれるのか。

A 石川健康福祉部長 扶養義務者の扶養は、「その他あらゆるもの」には該当しない。ホームページの記事は適切な表現ではないことから、今回修正した。

Q 「扶養義務者の扶養は保護に優先される」とはどういうことか。

A 石川健康福祉部長 扶養義務者の扶養を受けている場合は、保護費を計算する際にその金額を優先して差し引くことを意味すると考えている。

Q 扶養義務者への扶養照会はどのようにしているか。

A 石川健康福祉部長 生活保護申請者の同意に基づいて実施している。扶養義務の履行が期待できないと判断される場合には調査書類を送付していない。

一般質問



1 姉妹都市交流について
2 東福寺野自然公園について

岩城晶巳 議員



Q 今回シャンバーグ市を訪問して、どのような感想があるか。

A 水野市長 シャンバーグ市の情勢や歴史、文化に直に触れて、改めて姉妹都市交流の大切さを肌で感じてきた。教育面では、年齢に関係なく学習の場を提供して、AIや先進技術を駆使して高度な教育環境を整えていた。また民間企業との連携では、固定資産税の固定的費用を減免するなど企業誘致をしやすい環境を整え、商業地開発を民間企業と連携して推し進めていた。今後は子どもたちや産業界を含む市民間交流を再開し、これまで以上に紡いできた絆を大切に交流を広げていきたい。

Q 子どもたちを通してオンライン会議を行うってどうか。

A 上田教育長 市内の学校においては、英語の授業時間等を活用して、台湾やハワイなど海外の学校の子どもたちとのオンライン授業を通して国際交流の取組を進めている。グローバル化が進む社会において、子どもたちの視野を世界に広げて大きく育んでいくことは大変重要である。

Q 青雲閣はいつ頃から解体を始

めるのか。

A 上田教育委員会事務局長 事務室などの建物外への移転が完了した後に進めることにしている。

Q 事務室はどこに移すのか。

A 岩城建設部長 現在、事務室にはSLハウスの消防設備の集中制御及び電気供給の管理機器も整備されているため、青雲閣の解体の際には当該管理機器の移設も必要となる。管理機器の移設費などを試算の上、公園内の新たな場所に建設する方法と、仮設の事務所を建設する方法を検討している。

Q 東福寺野自然公園を一体的に考えながら、使い勝手のいいように管理しやすいところに事務所を設置するほうがよいのではないか。

A 岩城建設部長 公園内の全体の配置については、現在の形になっから長期間経過していることや、近隣の自治体に新たな公園が多くオープンしていることなどから、リニューアルに向けて準備を進めたい。

Q 入場料は無料でもよいのではないか。

A 岩城建設部長 公園のリニューアル等と一体的に考え検討したい。

一般質問



1 ふるさと龍宮まつりについて
2 漁業の振興について
3 姉妹都市提携や友好提携に向けた取組について

原 明 議員



Q ふるさと龍宮まつりの新川古代神街流しへの参加者数、ステージイベントや海上花火大会に訪れた市内外の見物客の数は昨年と比べてどのような状況であったか。

A 柿沢副市長 新川古代神街流しの参加者は、中学生、一般参加者を合わせて昨年の1千350人に対し、約530人であった。まつり全体の来場者数は、2日目が雨天であったため、昨年の来場者数約5万人から、今年は約3万人に減少した。

Q 昨年は駐車場不足、滑川駅の混雑、幹線道路の渋滞などの多くの改善点を指摘された。今年の運営はどうであったか。また、来年の開催に向けた改善点を伺う。

A 柿沢副市長 2日目が雨天であったことから、会場、駐車場とも大きな混乱はなかった。依然として路上駐車が多かったこと、花火大会終了後の来場者の誘導等に課題があった。今後、実行委員会ですべての課題を検証し、来年度のイベントに向け対応したい。

Q 浜の活力再生プランの今期の実績と評価を伺う。

A 黒川産業民生部長 プランの成果については、直近では令和4、

5年度に地域水産業再生委員会が開催され、取組の経過、漁業施設の改修計画等について意見交換が行われた。プランの目的である漁業者の収入増につながる取組については、思ったような成果が出ていない。

Q 県は、海や漁村の魅力を生かして地域振興につなげる「海業」を推進しているが、市の取組を伺う。

A 黒川産業民生部長 「海業」は、浜の活力再生プランに盛り込まれることが期待されており、今後プランの改訂に向け、地域水産業再生委員会にて協議検討されるものと考えている。「海業」の取組への要望があれば支援していく。

Q 瀬羽町の街並みがベトナムのホイアンと似ていることから、ランタンまつりが開催された。ホイアンとの姉妹都市提携や友好提携締結に向けた情報収集、可能性調査を進めるべきと思うが見解を伺う。

A 柿沢福市長 ランタンまつりの開催により市民にも、ベトナムが一番身近に感じる国の一つであると考えている。ホイアン市との締結については素地があると考える。情報収集や調査を検討する。

一般質問



- 1 現行の健康保険証からマイナ保険証への移行について
- 2 太陽光発電の問題について
- 3 学校教育の充実について

水橋 真治 議員



Q マイナ保険証を保有していない住民には資格確認書が交付されるが、資格確認書と現行の健康保険証との違いは。

A 石川健康福祉部長 現行の保険証と同様に、医療機関で資格確認書を提示することで受診ができ、両者には大きな違いはない。

Q 資格確認書の交付には住民側の申請が必要か。また、いつ頃、どのような方法で交付されるのか。

A 石川健康福祉部長 当面の間、マイナ保険証を保有していない方には、本人の申請によらず、保険者が交付することになる。

Q 資格確認書の仕組みとその交付方法、医療機関の受診は問題なくできることは、市民に周知されているか。マイナ保険証の義務化と誤解を生むような広報活動は行われているか。

A 石川健康福祉部長 市ホームページで周知しているほか、市広報10月号に掲載を予定している。窓口では丁寧に説明している。

Q 太陽光パネル設置は発電量の変動が激しく、バックアップ電源や蓄電設備、送電線網の整備などで、実際には火力発電や原子力発

電より総合的なコストは割高となることを理解しているか。

A 黒川産業民生部長 火力発電や原子力発電と一概に比較はできないが、太陽光発電を大量導入した場合の総合的なコストはかなりの費用がかかると考える。

Q 再生可能エネルギー固定価格買取制度で、太陽光発電等の再生可能エネルギーは、今後の普及によりさらに負担が増えるであろうことを認識しているか。

A 黒川産業民生部長 再生可能エネルギーの普及により電気を買取る電力会社等が増えれば、再生可能エネルギー発電促進賦課金の負担も減る可能性もあるため、現在のところ不明である。

Q 公立学校共済組合の調査では、ここ数年間連続で事務的な業務量が教員のストレスの原因1位となっている。県と連携して無駄な書類仕事を削減していけないか。

A 上田教育長 県教育委員会も事務的な業務量軽減に努めており、市も教員の業務負担軽減に取り組んでいる。今後も、他の自治体の好事例等も参考にし、継続して取り組んでいきたい。

一般質問



- 1 物価高騰等に対する影響について
- 2 安全・安心について
- 3 総合防災訓練について

高川 正樹 議員



Q 予算要求時に比べて、現在、事業を行う場合には物価高騰等の影響が出ていると思われるが、令和6年度当初予算に上げた事業は順調に進んでいるか。

A 石川総務部長 令和6年度当初予算においては、見積り関係の徴収については、大体10月、11月頃に分かるので、半年以上前という感じにはなっているが、当然当初予算編成に当たり物価高騰等の影響を見込んでいます。産業、防災などの「強い滑川」、子育て、福祉などの「優しい滑川」、教育、観光、まちづくりなどの「輝く滑川」の実現に向けて、各事業はおおむね順調に進んでいると考えています。

Q 今定例会で予算計上されている積雪状況観測システムとはどのようなものか。

A 岩城建設部長 積雪深度を測定するセンサーと積雪状況を確認できるカメラを市内4か所に設置し、冬季における道路の積雪状況を、いつでも、どこでも確認できるものである。また県が管理するウェブサイトである富山県道路情報に本システムのカメラ画像を提供する予定としており、一般の方を対

象とした道路状況の情報発信を強化できるものと考えている。

Q 中加積地区、山加積地区を中心に行う総合防災訓練はどのような内容となっているか。

A 水野市長 南部小学校をメイン会場として、洪水、地震、土砂災害を想定した総合防災訓練を実施する。両地区の自治会連合会の意見を踏まえながら、災害対策本部の設置・運営訓練、防災行政無線や結ネットを用いた情報伝達訓練、避難所の開設訓練などのほか、要配慮者やペット同行を含めた避難訓練、安否確認訓練、避難所運営訓練に加えて、初期消火訓練や煙中体験など市民参加型の体験訓練も実施する。また関係機関や各種団体にも参加をお願いしており、災害応援協定を締結した企業の協力を得ながら、防災展示も併せて実施する。

Q 次年度以降の開催地区はどの時点で決定するのか。

A 石川総務部長 現時点では決定していないが、早く決まれば、今回の訓練にも見学や参加していただけと思われるので、少しでも早く決定したいと考えている。

一般質問



子ども医療費助成について

大浦豊貴 議員



Q 「ワンチームとやま」連携推進本部会議において、県から2025年度、子どもの医療費助成対象を従来の未就学児から小学生までに拡大する方針が示された。また、これまで県が助成してきた未就学児のインフルエンザの予防接種は、負担を市町村に移すこととし、これにより市町村の支出は1億4千万円増えるが、県が医療費拡充分の6億2千万円を負担するため、差し引きで歳出は4億8千万円減る見通しだとして、本市の歳出に対する負担軽減額を問う。

A 上田教育委員会事務局長 市で支出した子ども等医療費の総額は、令和5年度実績で約1億6千万円。子どもインフルエンザ予防接種助成は約600万円であり、合計は1億6千600万円となっている。子どもインフルエンザ予防接種助成の未就学児が県から移管されることになり、市の支出合計は約500万円増加となる。子ども医療費の助成対象が小学生までに拡大されることや、入院通院等の一部負担金の廃止に伴い市の負担割合が50%から60%に変更されることにより、約2千200万円の減額が見込ま

れ、市の負担額は約1千700万円の減額見込みである。

Q 本市から県への子ども医療費助成制度の拡充についての要望の趣旨は、「各市町村が独自に制度を運用しているため、対象児童の年齢や一部負担金の額等、市町村の財政力等により対応が異なることや、少子化対策・子育て支援の一環として独自に実施する制度拡充により、かえって自治体間の競争を煽る結果となっており、財政負担の拡大と制度の複雑化も看過できない状況である」ことである。こうしたことから、医療費助成制度に係る財政支援を早期に18歳まで拡充することや、全国一律の子ども医療費助成制度の創設について国等へ働きかけることである。県の方針に対する見解について問う。

A 水野市長 県から事前の調整もあつたが、その時はもつと交換条件がたくさんあつた。それを15市町村の市長会等で話し合い交換条件を少し取り下げてもらつた経緯もある。ただし、市長会、町村会それぞれ納得しておらず、富山県市長会を通じ全国市長会にも上げようような案件だと認識している。

一般質問



3 2 1

地域おこし協力隊について
夏休みに行った子どもたちへの
事業について
医療について

吉森真人 議員



Q 本市の地域おこし協力隊は、本年1月に田中啓悟さんが、3月に寒河江大輝さんが就任された。就任され半年以上過ぎたところだが、これまでの活動内容と実績を問う。

A 柿沢副市長 1名は、空き家対策を主に取り組み、毎月の空き家相談会を実施している。また、空き家・空き地情報バンクを通じた移住希望者とのマッチングやサイトに市内の方々を紹介するインタビュー記事「ナメリカワビト」を掲載している。もう1名は、関係人口の創出を主に取り組み、市外からの訪問者が滞在できる場所や地域の特色を生かした交流の場の提供を目指している。メリカに在席してイベントの協力、実施をし、自らも地域の一員として市内外の方々との交流に取り組んでいる。

Q 2年目となった「なめりかわ未来学校サマースクール」は、SLハウスでの宿泊以外は昨年と変わらない内容に思えたが、実際はどうだったのか。

A 上田教育長 昨年度の内容、反省も踏まえ、今年度はブレ企画として、お仕事体験ゲームのワークショップや、保護者・企業向け

の講演会、また、参加する高校生、大学生に向けてデザイン思考の講習とフアシリテーター研修をオンラインで事前に実施した。サマースクールにおいては一人ひとりの意見がグループ発表により薄まらぬよう自分の意見を伝える手法として、企業において製品開発で用いられる、高速に試作をするという事を目的としたラップドプロトタイプングを活用して、滑川市をこうしたいというアイデアを立体的で具体的に表現し発表することに取り組んだ。

Q HPVワクチンは、子宮頸がんのほか、咽頭がんや肛門がんなど多くの予防効果があり、男性も接種することで子宮頸がんの根絶が早くなる。本年度から多くの市町村で希望する男性に対して補助している。本市も男性への有効性を周知し、希望者への助成ではなく定期接種を実施すべきではないか。

A 石川健康福祉部長 男性に対する定期接種化については、厚生労働省においてワクチンの有効性、安全性、費用対効果について議論を行っている段階であり、その動向を見守りたい。

一般質問



1 創業支援事業について
2 公民連携事業について
3 健康寿命維持に繋がる支援について

谷崎潤 一 議員



Q 創業支援事業補助金が、補助対象件数増加のため、補正予算が計上されている。令和6年8月時点での、問合せ件数と実施件数を伺う。

A 黒川産業民生部長 昨年度まで実施していた市街地空き地空き家活用支援事業及び新規創業奨励金を統合し、今年度から創業者支援事業を開始した。令和6年4月から8月までの問合せ件数は12件あり、交付決定した件数は、補助金は4件、報奨金は2件である。

Q 創業支援事業補助金は旧町部を対象であるが、今後、滑川市全体を対象とできないか。

A 黒川産業民生部長 今後、今行っている事業の効果を検証しながらニーズ等も踏まえ、対象地区の拡大や新たな制度の創設等、時代の変化を捉えた制度の見直しについて検討していきたい。

Q 公民連携による旧町部エリア再生調査業務は旧町部の空き家や土地を活用したまちづくりを指しているが、どのようなコンセプトでまちづくりを目指しているのか伺う。

A 柿沢副市長 公民連携による工

リア再生調査業務は、晒屋、橋場、瀬羽町、大町を対象に、かつて商店が並んでいた街並みを生かし、活用可能な民有不動産と、水辺や路地等の公共空間が調和したにぎわいのあるまちづくりをコンセプトに取組を進めたい。エリアのランドスケープや目指すべきビジョンを盛り込んだ基本計画を今年度中に策定したい。

Q 令和4年3月定例会で質問した、高齢者の滑川市総合体育センター利用料金について、利用場所限定で70歳以上の無償化は検討できないのか再度伺う。

A 上田教育委員会事務局長 ランニング走路については、無料化や高齢者割引を行う近隣自治体の施設もあることから、滑川市総合体育センターにおいても検討は必要であると考えている。無料化を行う際には、住所や年齢、利用場所など、無料または割引対象となる要件の確認などの運用面についての課題があることから、指定管理者と協議を進めたい。

その他の質問
・市内における通学路について

一般質問



1 持続可能な農業について
2 今後の消防団について
3 市民の憩いの場について

青山幸生 議員



Q 給食において地場産野菜使用割合の推移は。また増加する取組を行っているか伺う。

A 上田教育委員会事務局長 使用割合は、重量ベースで令和元年度は62・9%、令和5年度は45・7%であり、近年は大雨や猛暑の天候不順などの理由で低下傾向である。また毎週、共同調理場の職員が市内の野菜直売所へ足を運び、直接農業者の方と情報交換し、献立を考案している。年間を通じて四季折々の地場産野菜をできるだけ多く使用できるよう努めている。

Q せっかくの取組の割合が下がってきていることに非常に残念に思う。ぜひ100%に近づく取組をお願いしたいが、考えを伺う。

A 上田教育委員会事務局長 野菜等の価格も当然ながら、収穫量も併せて、生産者の方々の情報共有と情報交換が一番大切だと思っている。これからも情報共有ができるよう努めたい。

Q 滑川市は、消防団の力向上モデル事業の実績はあるか。担い手を増やすことも含め、活用方法のアイデアはあるか。

A 石川総務部長 消防団の力向上

モデル事業は、防災教育の推進、消防団の環境づくり、災害現場での役立つ訓練、企業等と連携した消防団加入促進等の先進的な取組に対し、令和4年度創設された全額国費の事業である。滑川市消防団での活用実績はないが、他の自治体の先進的取組を参考にしながら、消防団員の担い手不足の解消に向けて、この制度の活用を含め検討したい。

Q 西部小学校と東部小学校の児童数を合計した場合、市内児童数の約48%を占めるが、緑地及び公園が少ないように感じる。市の見解を伺う。また新たな整備は考えていないか。

A 岩城建設部長 本市の公園緑地としては、滑川運動公園やスポーツ・健康の森公園などが整備されている。住民1人当たりの都市公園の敷地面積が条例の設置基準10平方メートルを超えていることで交付金が見込めないことや、公園用地の確保など課題も多いことから、新たな公園の整備については現在のところ難しいと考えている。今後の宅地化の状況等を見ながら検討したい。



<滑川市立博物館での研修会>

**上市町議会との
親善交流会 (10月3日)**

上市町議会との親善交流会を行いました。

まず、滑川市立博物館では、盛田拳生学芸員による講演「滑川と上市を結ぶ3千年の文化財が伝える縄文・中世」を聞き、太古の昔から上市と滑川が縁の深い関係であることを学びました。

その後の懇談会では、中川上市町長、水野滑川市長を来賓に迎え、活発な意見交換を行い、交流を深めました。

陳情・要望書

件名及び提出者

処理結果

①陳情 (1件)

- 市内の建設産業の振興に関する陳情 採択

| | | |
|------------|-----|-------|
| 滑川商工会議所 | 会 頭 | 星名 照彦 |
| 滑川市建設業協同組合 | 理事長 | 古柄 久成 |
| 滑川市管工事協同組合 | 理事長 | 上田 博樹 |
| 滑川市造園業組合 | 組合長 | 澤谷 健 |
| 滑川市電設業協会 | 会 長 | 山本 弘起 |

②要望書 (3件)

- 母 (王乖彦) が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情 全議員へ参考配付
張 一文
- ひきこもり基本法制定に関する意見書採択のお願い 全議員へ参考配付
高和 正純
- 地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望 ... 全議員へ参考配付
公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会令和六年度定時総会
公益社団法人滑川市シルバー人材センター

| 議案番号 | 議案内容等 | 委員会 | 採決結果 |
|--------|--------------------------|-----|---------|
| 議案第72号 | 滑川市教育委員会の委員の任命について | — | 原案同意 |
| 議案第73号 | 滑川市教育委員会の委員の任命について | — | 原案同意 |
| 議案第74号 | 滑川市固定資産評価審査委員会の委員の選任について | — | 原案同意 |
| 議案第75号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | — | 異議なしと意見 |
| 議案第76号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | — | 異議なしと意見 |
| 陳情第1号 | 市内の建設産業の振興に関する陳情 | 産 | 採択 |

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。
 ※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会、決特：決算特別委員会

9月定例会は全員賛成だったため、賛否一覧表は掲載しません。

議会報告・意見交換会 開催！

日時 令和6年11月1日（金）

午後7時から（1時間半程度）

場所 滑川市役所 東別館3階 大会議室



ご来場をお待ちしております。

議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。
 市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。

【議会報編集委員】

高川正樹委員長 吉森真人副委員長
 谷崎潤一委員 青山幸生委員
 古沢利之委員 開田晃江委員
 中川 勲委員

電話 47512120

12月定例会が下記の日程で開催されます

| 日 | 時間 | 摘要 |
|----------|-----|-------------------|
| 12月2日（月） | 10時 | 会期の決定、提案理由説明、補足説明 |
| 9日（月） | 10時 | 代表、一般質問 |
| 10日（火） | 10時 | 一般質問 |
| 11日（水） | 10時 | 総務文教消防委員会 |
| 12日（木） | 10時 | 産業厚生建設委員会 |
| 16日（月） | 11時 | 委員長報告、質疑、討論、採決 |